

第1回 土砂災害対策審議会

補足資料1 大雨発生頻度

平成26年10月30日
和歌山県

大雨発生頻度

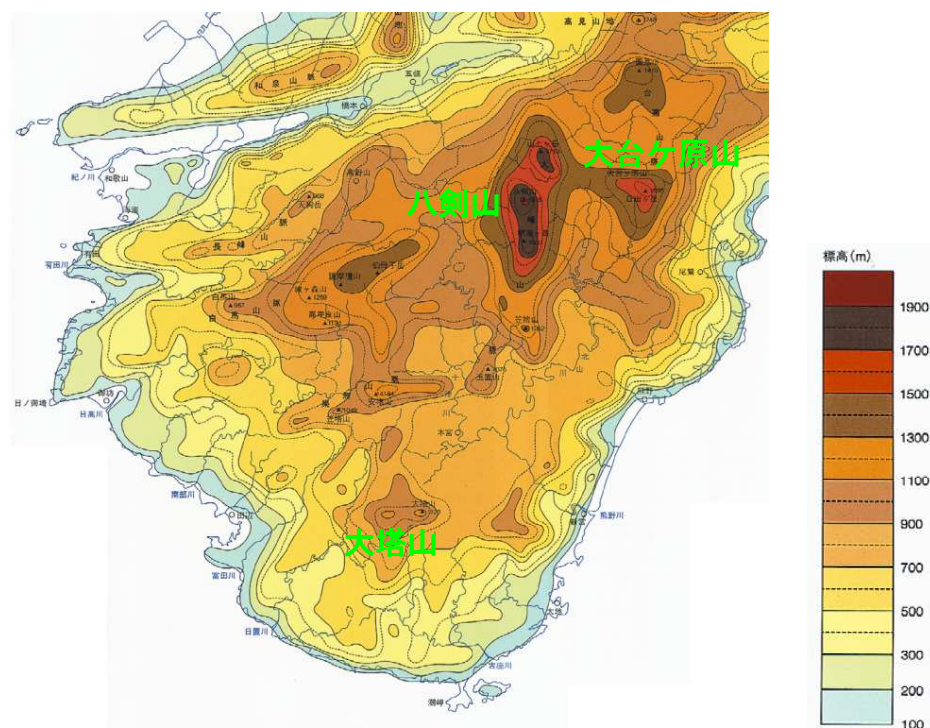
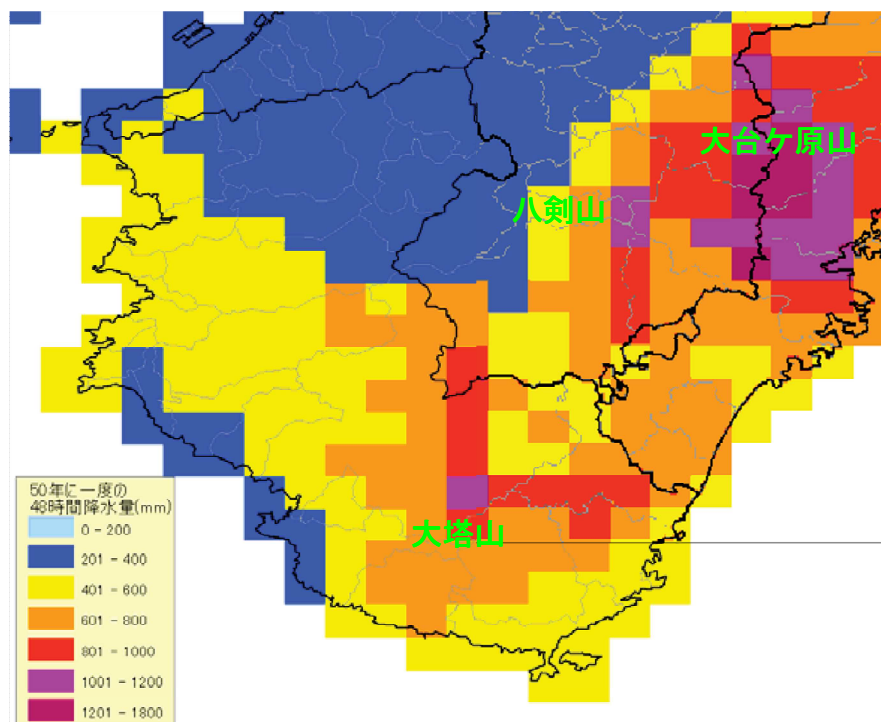
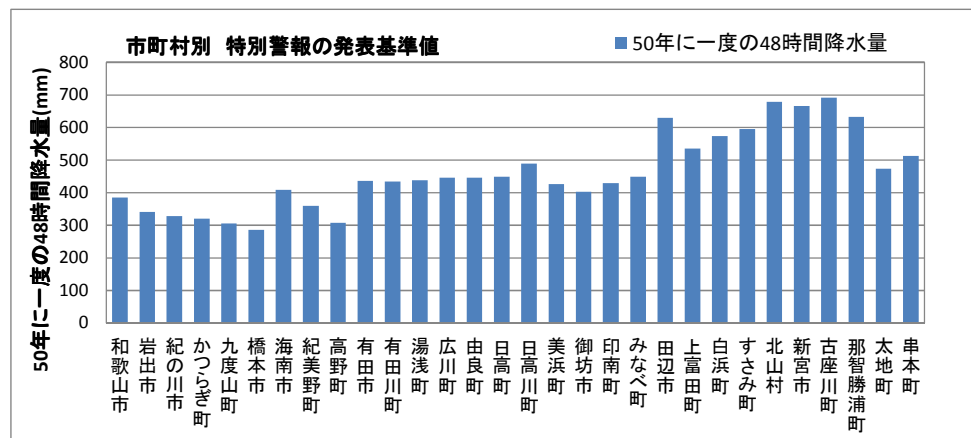
(1) 50年に一度の48時間降水量

下図は気象庁が**特別警報の発表基準**としている50年に一度の48時間降水量である。

紀伊山地の地形は脊梁がおおむね北東～南西に走り、1,500m前後の尾根が連なっている。最高峰は八剣山の標高1,915mで、50年に一度の48時間降水量は1,000mm以上である。

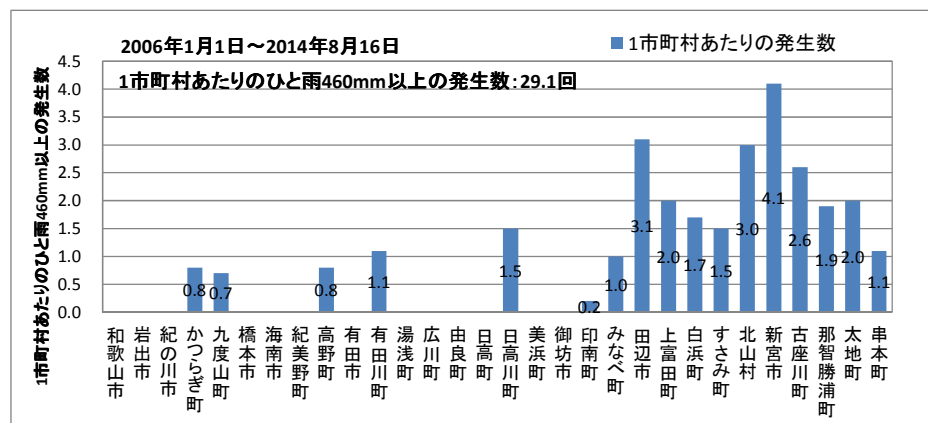
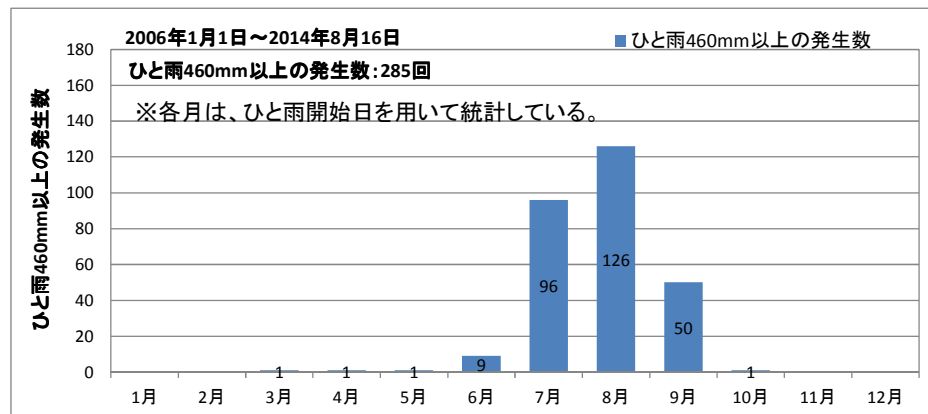
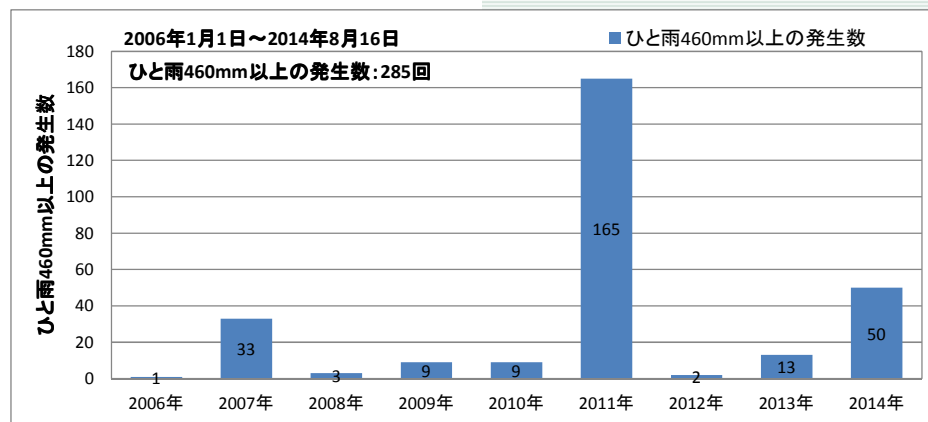
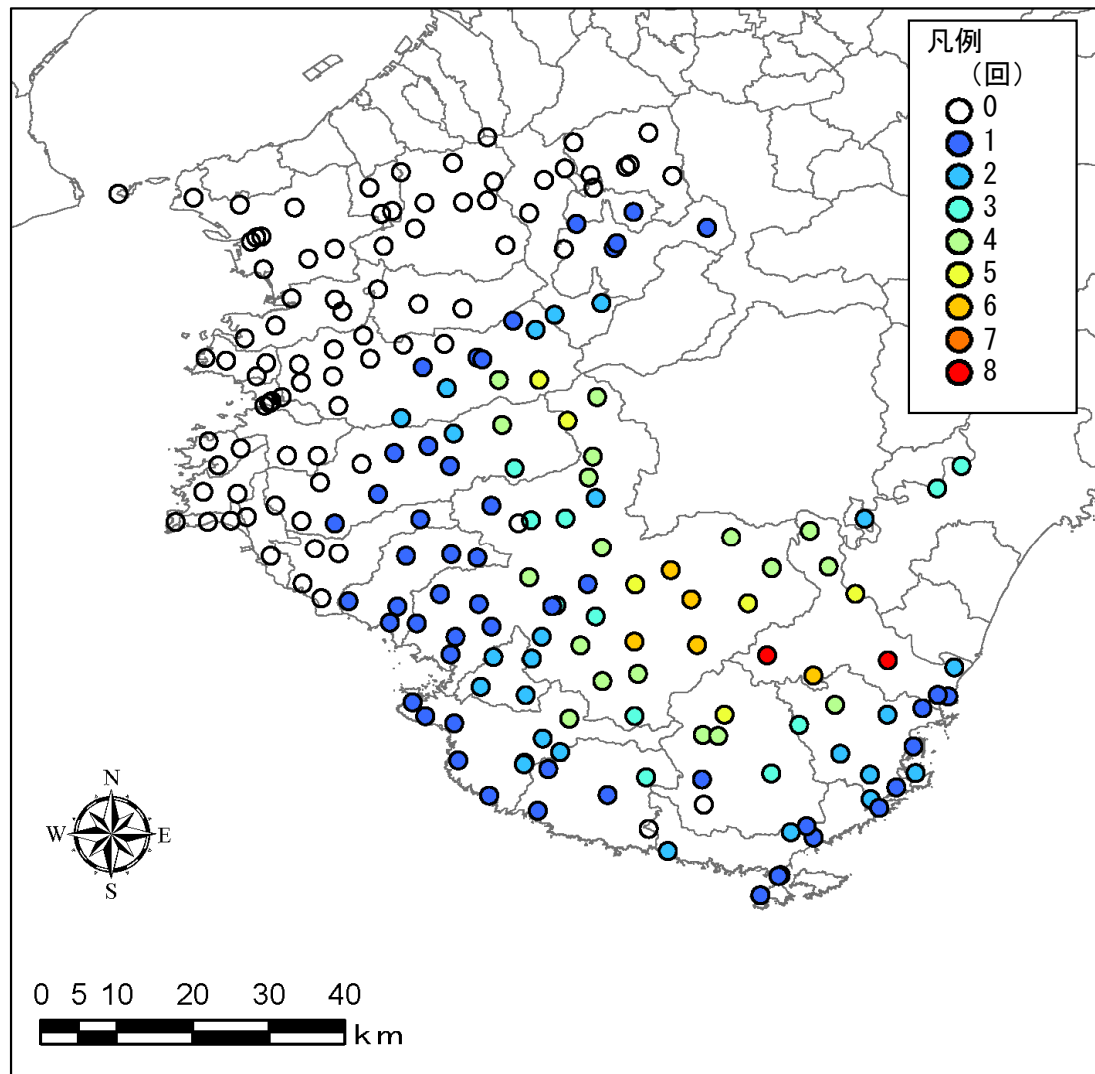
大塔山(標高1,122m)でも1,000mm以上であり、大台ヶ原山(標高1,695m)では1,200mm以上となっている。

また、和歌山県を含め紀伊半島周辺では、200mm以下が該当する地域は見られない。



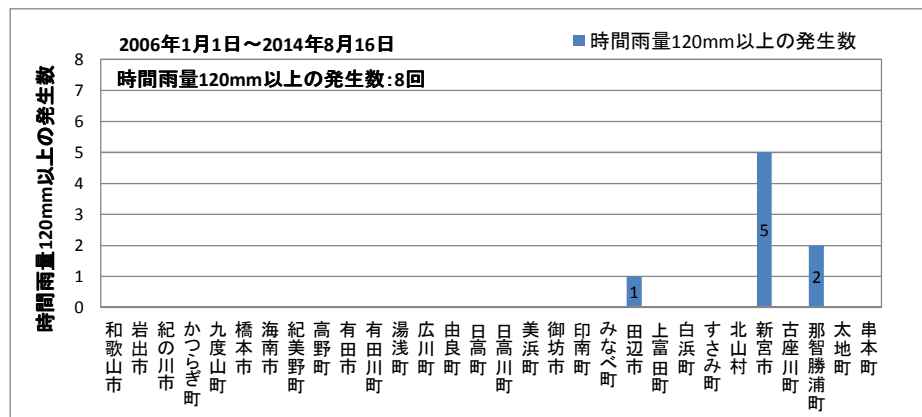
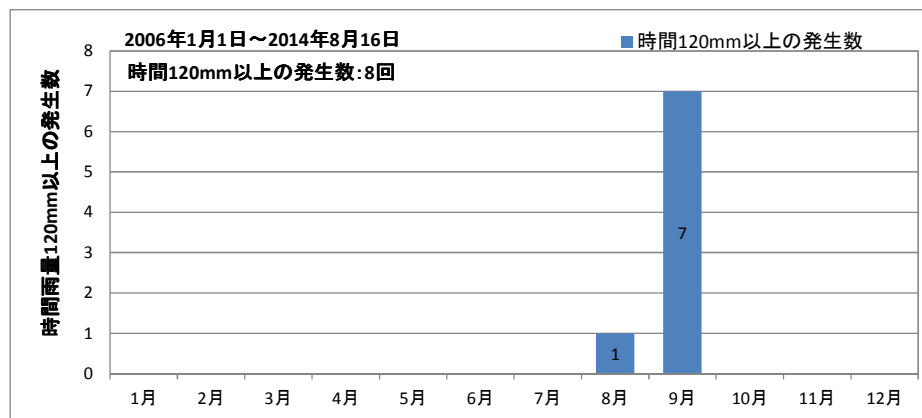
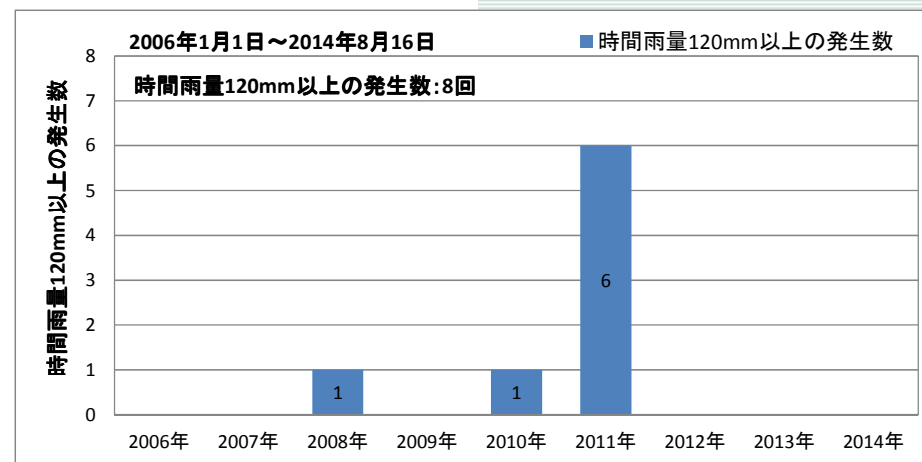
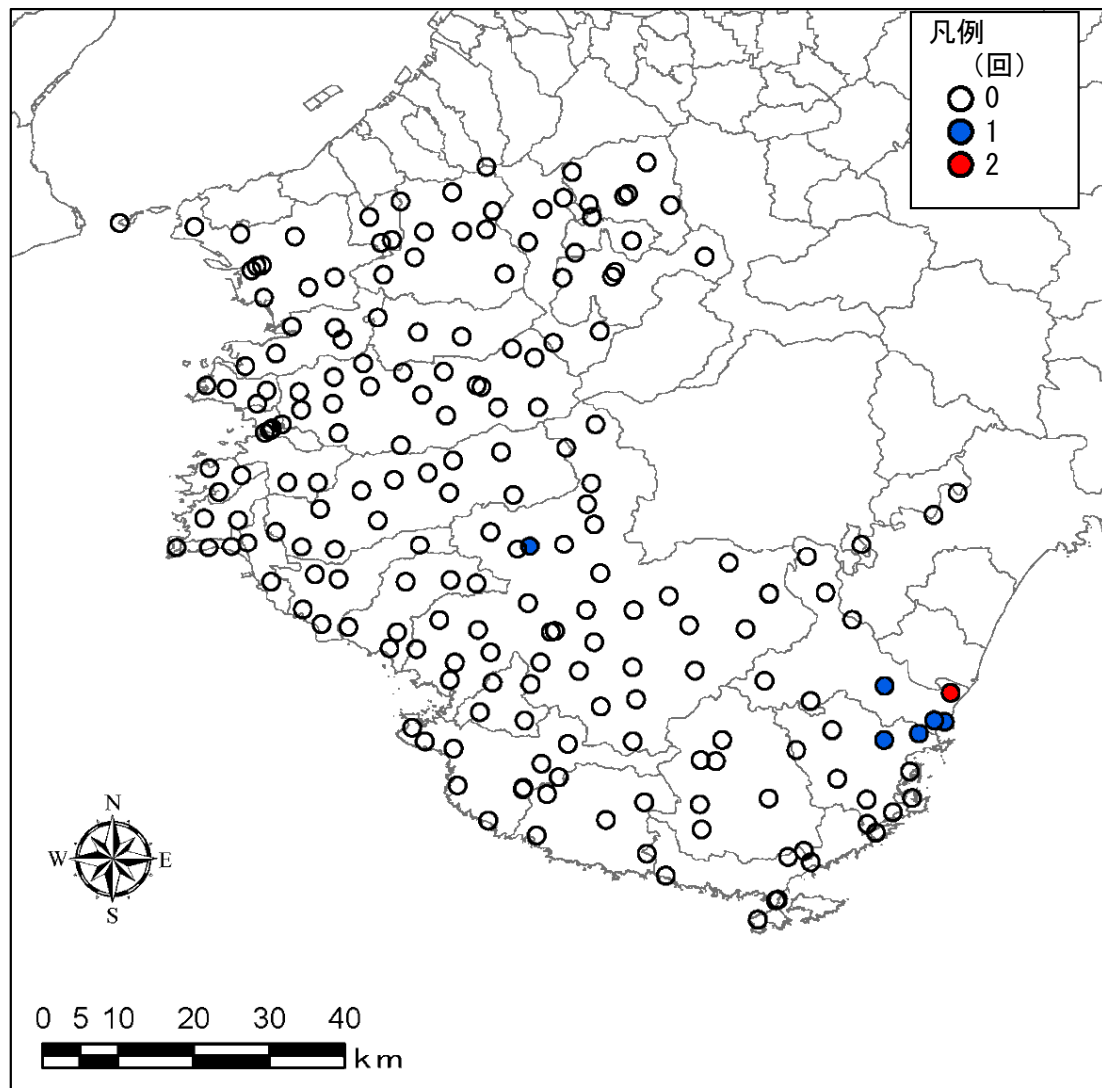
大雨発生頻度

(2) ひと雨460mm以上の発生数



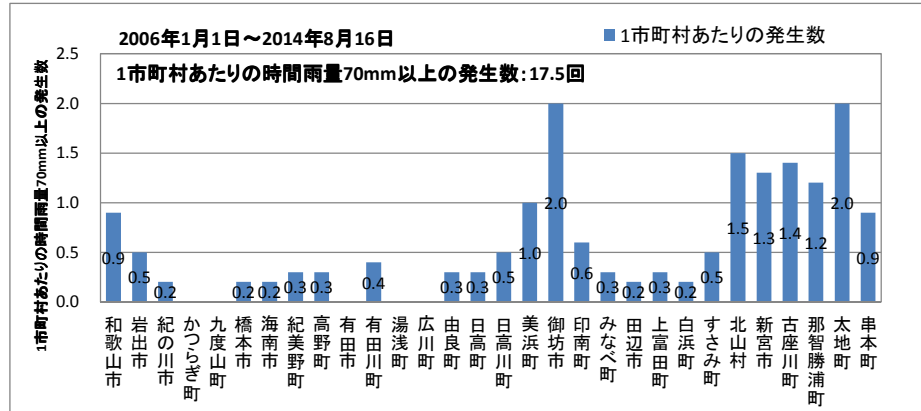
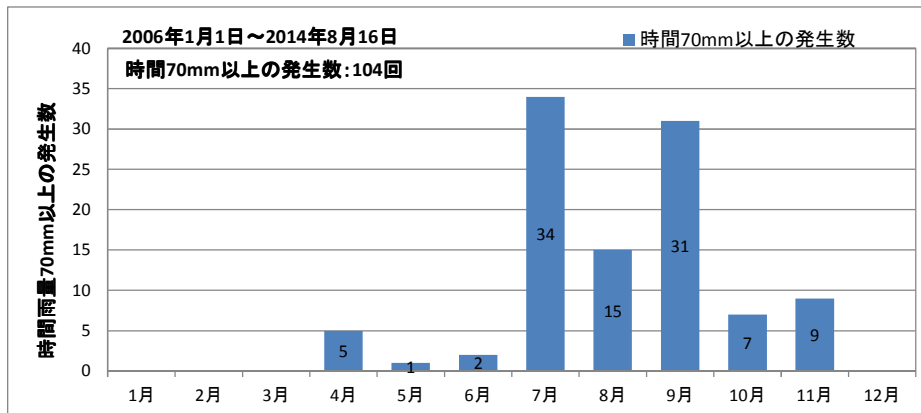
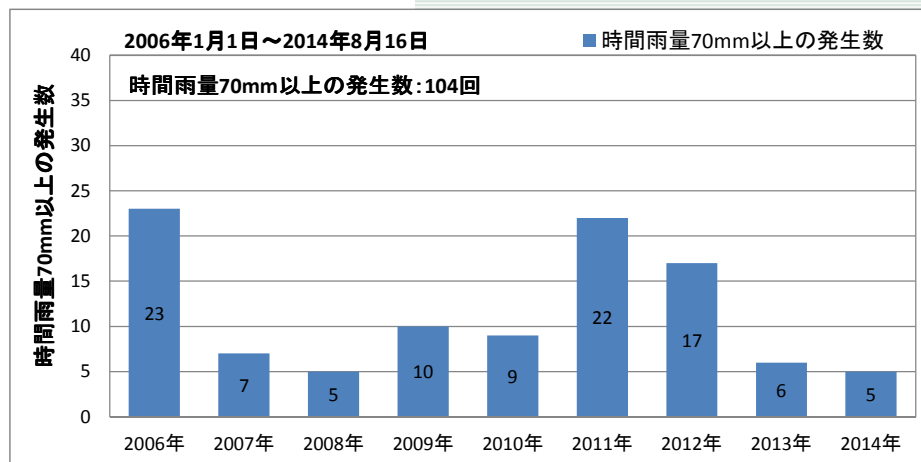
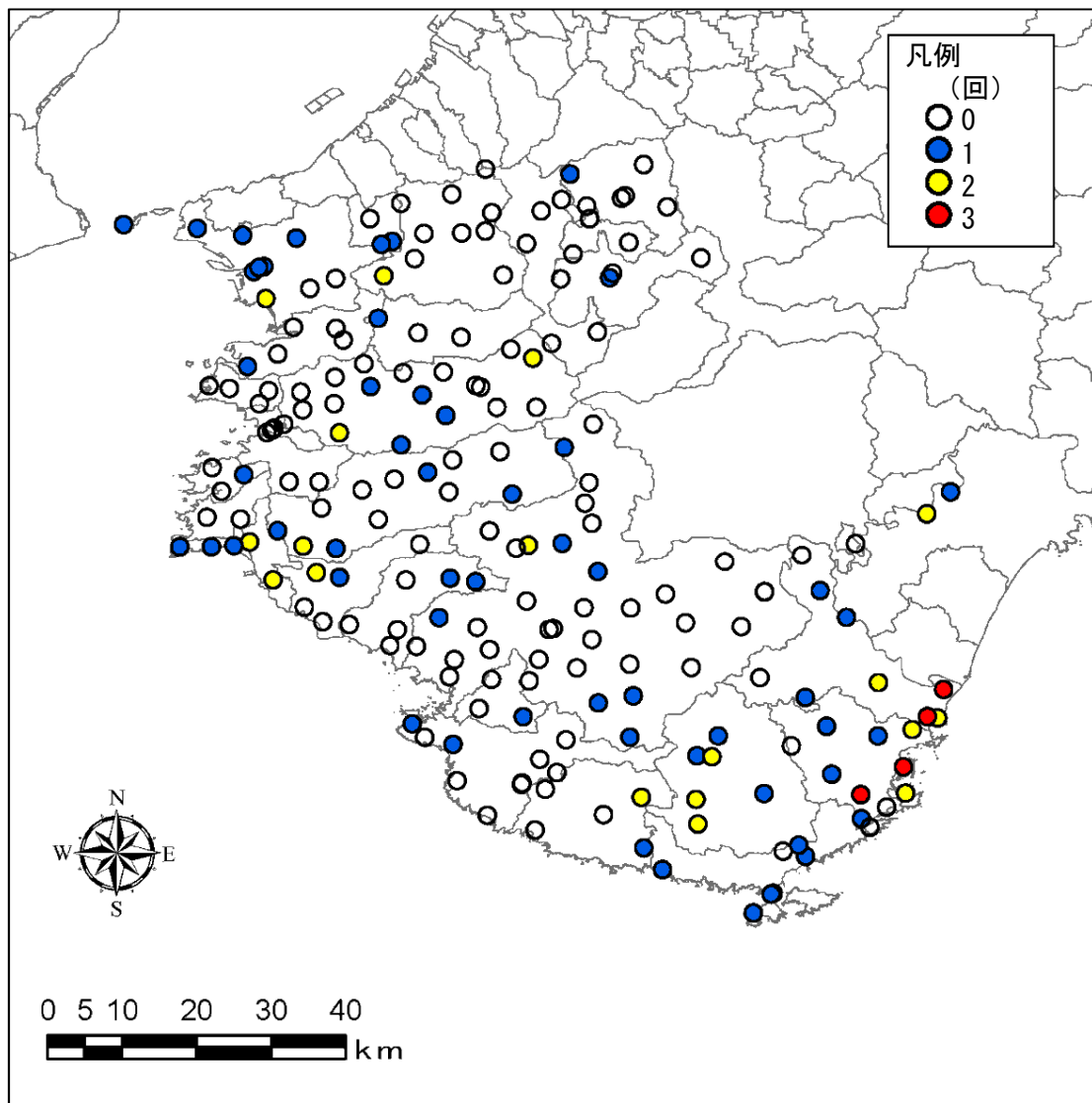
大雨発生頻度

(3) 時間雨量120mm以上の発生数



大雨発生頻度

(4) 時間雨量70mm以上の発生数



大雨発生頻度

(5) 時間雨量40mm以上の発生数

